

北・北海道物流拠点の整備

協議会名:北・北海道物流拠点検討協議会

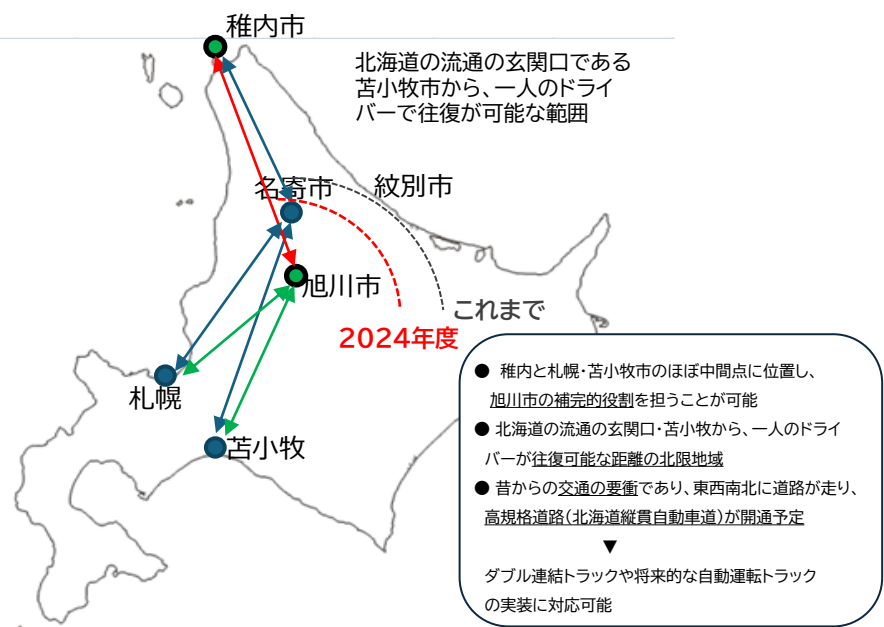
協議会構成員(R7.6月末現在)
名寄市、名寄商工会議所、ヤマト運輸株式会社、五十嵐運輸株式会社、西尾運送有限会社

【事業実施背景】
道北地域では、人口減少の加速に加え、広域分散型社会の特徴から輸送量が限定的であり、物流事業者数の減少も著しい。地域の物流や優良な1次産品を産出する生産空間を維持するため、中継輸送等実績のある事業者を中心に、物流拠点の可能性・方法を模索する。

事業内容

Point
高規格道路の開通を見据えて、共同輸送・中継輸送の拡充やダブル連結トラックの活用を推進できるように、民間主導による物流拠点の整備を目指し、可能性検討をふまえた構想を策定する。

- STEP1**
 - 物流拠点構想検討協議会の設立
 - 複数事業者の参画促進
 - 物流拠点構想の検討・策定
- STEP2**
 - 物流拠点準備委員会の設立
 - 整備・運営主体の参画促進・決定
- STEP3**
 - 物流拠点整備委員会の設立
 - 計画、設計 策定
 - 用地取得 等 整備に向けた準備



想定事業実施効果

【農水産の輸送量維持】(道北地域)
7,299,288トン(2022年)

【生産空間の維持】
名寄に物流拠点を整備し、持続可能な物流ネットワークを再構築することで物流の効率化を図る。結果、道北地域の基幹産業である一次産業の生産量は維持され、道央圏域等へ安定供給されることで、食料安全保障の基盤となる生産空間は保たれる。

※道北地域…上川、宗谷、留萌、空知(深川市・雨竜郡) 各振興局